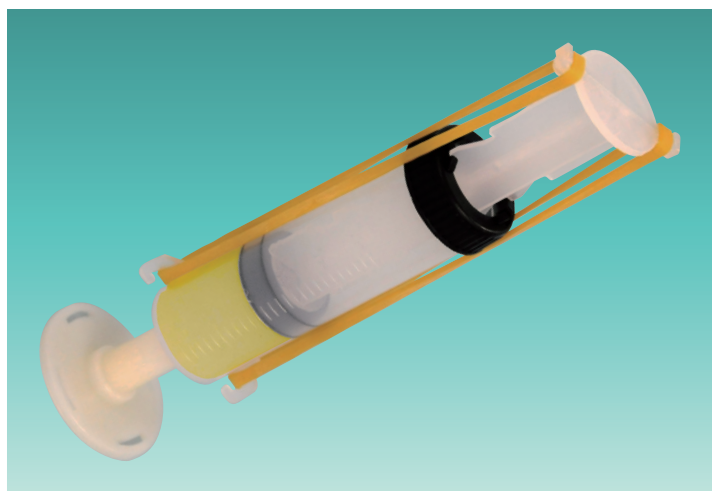


コンクリートのひび割れ補修に用いる
自動式低圧樹脂注入器具

ショーボンド LLインジェクター

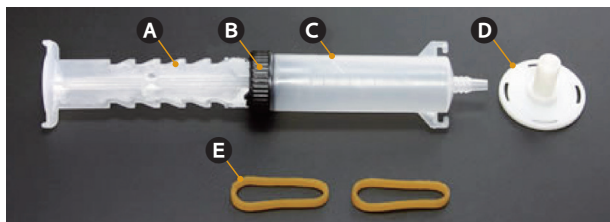


- ◆インジェクターへの注入材の充填が容易です。
- ◆充填には特別な器具は必要ありません。
- ◆シリンダーに目盛りがついているので残量の確認が容易です。
- ◆圧力はゴムの本数で容易に調整できます。

■補修工学[®]— 構造物の総合メンテナンス企業

ショーボンド建設株式会社

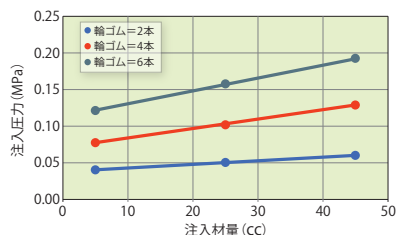
特徴



製品構成：LLインジェクターは、**A**ピストン **B**ストッパー、**C**シリンダー、**D**注入座金、**E**加圧ゴムで構成されています。

容量：50cc

注入圧力：



LLインジェクターへの充填方法：

ピストンを引くことでシリンダー内部に注入材が充填されます。充填完了後、ピストンを左に少し回転させてストッパーに固定させゴムをかけます。



関連資材

■シール材

商品名	成分	特徴
#101	エポキシ	汎用
BL シール	ポリエステル	速硬タイプ
SB ソフトシール	シリコーン	はく離可能

■注入材

商品名	成分	特徴
BL グラウト	硬質エポキシ	低粘度
DD グラウト	硬質エポキシ	中粘度、揺変性
WB グラウト	硬質エポキシ	湿潤面接着
DD グラウト 50	柔軟エポキシ	柔軟性、揺変性
BL グラウト 100	柔軟エポキシ	柔軟性

■製造元

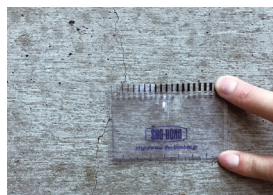
ショーボンドマテリアル株式会社
〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-10 TEL.049(225)5611(代表)
<https://www.sb-material.co.jp>

■販売元

ショーボンド建設株式会社
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-8 TEL.03(6861)8101(代表)
<http://www.sho-bond.co.jp>

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

施工手順



①現場調査

ひび割れの幅、長さを調べ、施工に必要な注入資材の数量を算出します。



②下地処理

ワイヤーブラシやディスクサンダー等を用いてシール材塗布箇所の汚れやほこりを取り、きれいにします。



③座金設置位置のマーキング

注入座金取付け位置をマーキングします。設置間隔は200～300mmです。



④座金設置

座金にシール材を塗布し、設置していきます。※SBソフトシール使用時には、座金の接着面および側面にあらかじめSBソフトシールプライマーを塗布しておきます。



⑤シール

ひび割れ部から注入材がもれないようシールします。シール材は、厚み2mm、幅30mmを目安にし、シール材が密着するようにへら等で押えます。



⑥注入

シール材の硬化を確認した後、注入材を充填したLLインジェクターを座金に取り付け注入します。



⑦撤去

注入材が硬化した後、LLインジェクター、シール材を撤去します。

●取扱い営業所